

【建築・電気科3年 建築コース】課題研究

江津市内歴史的建造物修復班③

修復活動①（郷田小学校横、戦没者を祀るための社）

令和2年度、建築・電気科3年建築コース「江津市内歴史的建造物修復班（4名）」では、郷田コミュニティから老朽化し壊れた神社の修復の依頼があり、伝統的な



修復前（鯉木、鬼板、千木、赤丸部分が落下している）

宮大工の技術を使って修復しました。この社は、木の劣化具合から昭和中期に建てられたと思われる、修復前には、屋根材の鯉木、千木、鬼板が腐敗し地面へ落下していたので、落ちていた鯉木と千木、鬼板を修復し、取り付けました。腐食の原因は、銅板内への雨水の侵入であり、加工が全て終わった後は、雨水侵入を考慮し、防腐処理を行いました。3年間学んだ建築の知識が生かせるかを考えながら、仲間と協働し、助け合い、課題を克服することができました。



修復後（鯉木、鬼板、千木を取り付けた修復した）